

# SDGs JAPAN SCHOLARSHIP 岩佐賞

# つなげよう、地球の未来。

## 第1回「SDGs岩佐賞」 受賞者発表!



公益財団法人  
岩佐教育文化財団  
代表理事 岩佐 実次

第1回岩佐賞には、数多くのご応募をいただきました。今回は受賞できなかった方も含めて、次回も志ある多くの方からのエントリーを期待しております。今回以上の賞金を贈れるよう努力する所存です。みなさんの活動を一過性のものではなく、より一層の広がりや役に立てほしいと願っています。

—このすばらしい世の中と、このとてもない社会を共に生き抜きましょう。

岩佐実次

目前の課題に真摯に向き合い、SDGs達成に向けて活動している人々を応援したい——。そんな思いから、公益財団法人岩佐教育文化財団が2022年に創設したのが「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」(SDGs岩佐賞)です。

第1回の応募総数は全1325件。厳正な審査を経て、全8部門の受賞者が決定しました。すべての受賞者の活動詳細と喜びのコメントは、朝日新聞SDGs ACTION!で掲載しています。

来月からは、第2回「SDGs岩佐賞」のエントリーが受け付け開始。岩佐教育文化財団はこれからも、SDGs達成のために地道な努力を重ねるみなさんを応援し続けます。

## 医療の部

### 24時間365日 心臓救急疾患を断らずに 人々と地域を守るチーム榊原

団体 公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院  
榊原光章さん



賞金 2,000万円

「24時間365日、救急を断らない」という理念を実現するため、榊原記念病院では、消防司令室や救急隊との連携、集中治療室や一般病棟の弾力的運用等に努めてきました。この地域を守る最後の砦として、今後も努力を続けます。

### 5Gネットワークを用いて、 災害、パンデミック、重症患者搬送など 未来につながる救急医療の実践を

団体 聖マリアナ医科大学救急医学  
森澤健一郎さん



賞金 2,000万円

聖マリアナ医科大学病院は、2023年1月に移転する新病院に、66床の集中治療室、軽症から重症まで全てに対応できる救命救急センターを構築。あらゆる事態に対応できる高度救命救急センターを目指しています。

### 世界の医療団 日本 保健医療活動

団体 認定NPO法人メドウサン・テュモンド ジャパン(世界の医療団)  
ガエル・オスタンさん



賞金 1,000万円

「適切な医療を受けることは誰もが生まれながらにして持つ権利である」との理念のもと、「世界の医療団 日本」は今後も、ラオスの地域医療強化やロヒンギャ難民の保健衛生啓発、そして国内での活動を続けていきます。

### ファシリテッド・プログラム (こども病院での 動物介在療法への推進)

団体 認定NPO法人  
シャイン・オン・キッズ  
メンバリー・フォー・サイズさん

賞金 500万円

関病中の子どものために、医療施設などで働く犬の育成・導入を推進しています。

### 困窮する女性を 救済する フェムシブ ドクターの活動

団体 一般財団法人  
日本女性財団  
対馬ルリ子さん

賞金 300万円

福祉団体と連携し、女性医師が、心身の不調や性暴力被害などの対応にあっています。

### 医療的ケアや 障害がある 子供達の学校 支援プロジェクト

団体 かねるハピネス  
訪問看護ステーション  
近藤久美子さん

賞金 200万円

人工呼吸器を使用している児童の就学を支える「学校看護観護」の業務を担っています。

## 教育の部

### 国際協力・SDGs普及啓発事業 「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」

団体 NPO法人関西NGO協議会  
三輪敦子さん



賞金 300万円

### ジェンダー視点を 取り入れた防災教育

団体 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと  
小山内世喜子さん



賞金 300万円

青森県内外の若年層を対象に、「ジェンダー視点を取り入れた防災教育」を展開しています。次世代の災害時における実践的な力を養成するとともに、男女共同参画の意識向上や、学校と地域住民をつなぐにも貢献しています。

### たまり場(若者の学び直し・居場所づくり)

団体 NPO法人さいたまユースサポートネット  
青砥恭さん



賞金 300万円

不登校や高校中退、親の離婚など、様々な理由で孤立している若者の学び直しを支援する「たまり場」活動を2011年から実施しています。ここを利用した2千人ほどの若者が、就労支援などを通して自立に向けて果敢とっています。

### 「新しい公共」と「新しい公共サービス」を 実現するエミブラストラボ同人社

個人 吉野正剛さん



賞金 200万円

北海道岩見沢市を、誰もが豊かに学び暮らせるまちにすべく、多様なステークホルダーをつなぐハブとなる会社を設立し、活動中です。

### 中学生の視点から福島の農業復興をめざす

個人 菅野俊幸さん/福島市立吾妻中学校教諭  
低カリウムトマトや高精度トマトなどの研究に生徒と取り組む、福島の農産物に新たな価値をつけることを目指しています。



賞金 100万円

### 日本語難民児童のための ことばの無償支援プログラムCOSMOS

個人 田中祐輔さん/青山学院大学文学部准教授  
日本語を第二言語とする児童のために、教師・保護者、児童向けそれぞれに日本語学習の支援プログラムを提供しています。



賞金 100万円

## 福祉の部

### 地域の方の居場所や 生きがいとなる民間図書館

団体 NPO法人情報ステーション  
岡直樹さん



賞金 300万円

### タテナオシ (空き家を活用した貧困問題の解消)

団体 合同会社Renovate Japan  
甲斐隆之さん



賞金 300万円

貧困問題解決のため、空き家を活用した事業を展開しています。借りた空き家に、住む方を受け入れ、経済的・心理的に安心できる時間・空間を確保したうえで、就労などの次の段階の支援を提供しています。

### 深さを持った演劇のまちづくり (認知症演劇的介護及び障害者ダンスワークショップ)

団体 一般社団法人豊岡アートアクション  
中貝宗浩さん



賞金 300万円

豊岡アートアクションが目指すのは、単に人々が演劇を楽しむのではなく、演劇が観光、教育、福祉など様々な分野で「役割を果たしている」まちをつくること。いまは、「認知症×演劇」の可能性を探るプログラムの策定準備中です。

### 就労支援ネットワークONE

個人 中倉電次さん  
難病や長期慢性疾患の患者向けに、就労相談やセミナーなどを実施。制度の狭間で困っている方々を支援しています。



賞金 100万円

淡路結  
(地域資源を生かした就労弱者とのものづくり)

個人 梶原誠一さん  
淡路島の藍で染めた水引をアレンジしたお守り「淡路結」を、障害のある人などに作っています。



賞金 100万円

### 重度障害者の意思伝達手段獲得の支援

個人 松尾光晴さん/アクセス株式会社代表取締役  
重度障害者の方がコミュニケーションをとるための伝達装置を約20年にわたって開発・提供しています。



賞金 100万円

## 環境の部

### 街の点字ブロック 「もったいない!」プロジェクト

団体 W&Mシステムズ合同会社  
高山裕康さん



賞金 500万円

既設の点字ブロックを活用した「ロード点字ブロック」を考案しました。アプリをインストールしてスマホのカメラをかざすと、現在地や周辺の情報などを多言語で音声案内、視覚障害者だけでなく、外国人観光客にも便利です。

### 「世界最大級の電子機器の墓場」 でのリサイクル工場建設

団体 マコクリエーション株式会社  
長坂真護さん



賞金 500万円

ガーナのラム街には、電子廃棄物を燃やして貴金属を抽出し、生計を立てている住民がいます。ここにプラスチックのリサイクル工場を建設することで、大気汚染や健康被害、そして貧困の課題解決に寄りたいと思っています。

### 帰還困難区域を 中心とした 11年間の 放射線測定

個人 小豆川陽見さん  
/東京大学大学院  
総合文化研究科助教

賞金 100万円

研究者の役割を果たすべく、被災地の放射線測定と解析、そして放射線に関する教育活動を続けています。

### 休眠資源を 活用した ミツロウラップの 製造販売

個人 山下久美さん  
/マムキモノリノカ代表

賞金 100万円

養蜂の副産物であるミツロウ(ハチの巣)を養って、洗って繰り返し使えるミツロウラップを開発しました。

## 平和の部

### 生活困窮者の相談・支援

団体 認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい  
大西連さん



賞金 500万円

設立以来20年以上にわたって、その日の食事や宿泊場所にも困っている方などをサポートし、生活を立て直すお手伝いをしてきました。今後も「日本の貧困問題を社会的に解決する」をミッションに掲げ、活動を続けていきます。

### 紛争・災害の影響を受ける国々における 難民とホスト・コミュニティの自立支援 および日本国内での平和教育の実践

団体 NPO法人テラ・ルネッサンス  
小川真吾さん



賞金 300万円

元子ども兵士や性暴力被害者、地雷被害者など、紛争の影響を受けた人々への支援を、アフリカやアジア地域で20年以上にわたって続けてきました。今年3月からはハンガリーとウクライナにて難民・避難民支援も実施しています。

### 教育を通じた難民の受け入れ活動 (日本・ウクライナ教育バスウェイ、シリア・アフガニスタン難民のための教育バスウェイなど)

団体 一般財団法人バスウェイ・ジャパン  
折原徳正さん



賞金 300万円

教育を通じて難民の新しい道を拓くことを目指し、今年3月からはウクライナ小学生及びその家族を受け入れるプログラムを実施中、日本語習得や学位取得にとどまらず、日本での就業、定住も視野にいたれた支援を提供しています。

### 難民・仮放免者への支援

個人 眞野明美さん  
入国管理局の対応改善を求めて活動したり、仮放免者の生活のサポートをしたりしています。



賞金 200万円

誰も置き去りにしない社会「障害平等研修(Disability Equality Training:DET)」で増やす。



賞金 100万円

個人 石川明代さん  
/DETファシリテーター、(リ)アフリカ社会人サークルcolors代表  
世界基準の障害教育といわれるDETのファシリテーターとして、研修やセミナーを実施しています。

## 芸術の部

### 障害のあるアーティストの発掘&育成事業

団体 クリエイティブ・アート実行委員会(事務局ミューズ・カンパニー)  
西村陽平さん、伊地知裕子さん



賞金 200万円

ダンスや美術、音楽は新たな美を創造し、多様な価値を社会にもたらすものです。障害のあるアーティストを発掘・育成し、その成果としての作品や公演を紹介していくこともまた、多様性に富んだ社会を創っていくことになると考えています。

### 「音楽」の宅配便事業及びPRコンサート

団体 ミュージック・オフィス▷DoReMi  
小林圭子さん



賞金 200万円

コンサートに出かけるのが難しい難病患者や医療的ケア児、終末期の方やご家族のために、アーティストが自宅に伺って演奏する「音楽」の宅配便」事業を手がけています。活動への協力を呼びかけるためのPRコンサートも年間開催しています。



賞金 100万円

個人 田原真理子さん/写真家  
障害のある子どもが手で第九「歓喜の歌」を奏でる様子を写真展にしました。ドイツでの開催を目指しています。

## 農業の部

### 世界から飢餓をなくすための 自然栽培農家の取り組み

個人 田中陽可さん/自然栽培のイニバ農園代表



賞金 200万円

世界の飢餓を生み出す構造の一つが、土地収奪です。私は持続可能な食料供給のためには、「自然栽培による小さな農業」が大切であるとの考えのもと、自然栽培作物の生産・販売や、自然栽培の意義や農法を伝えていくことに尽力しています。



賞金 100万円

富岡町ツツジ再生プロジェクト



賞金 100万円

渡邊優那さん  
/大森原つつし園 26代目  
当主、東京農業大学学生  
福島県富岡町のツツジを地域住民とともに増やすプロジェクトを実行中。復興の助けになればと思っています。

## 特別枠

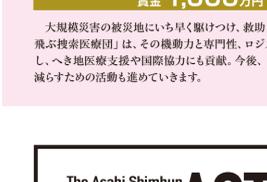
### 空飛ぶ捜索医療団

団体 NPO法人ピースウィンズ・ジャパン  
稲葉基高さん



賞金 1,000万円

大規模災害の被災地にいち早く駆けつけ、救助・救命活動を行う「空飛ぶ捜索医療団」は、その機動力と専門性、ロジスティクス能力を生かし、へき地医療支援や国際協力に貢献。今後、「防ぎえた災害死」を減らすための活動も進めています。



賞金 1,000万円

The Asahi Shimbun  
SDGs ACTION!

すべての受賞者の活動詳細、受賞コメントは朝日新聞SDGs ACTION!で公開!

https://www.asahi.com/sdgs/brand/iwasasho/

第2回「SDGs岩佐賞」は、  
11月からエントリー開始!

応募期間 2022年11月7日(月)~12月6日(火)

「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」の特設ウェブサイトから  
応募フォームに記入のうえ送信してください。  
特設ウェブサイト <https://sdgs-iwasazaidan.com>

公益財団法人 岩佐教育文化財団

財団の主な活動

- 大学生を対象とした奨学金給付活動
- ナチュラル農業体験・環境教育活動
- 高校生を対象とした奨学金給付活動
- 「岩佐賞」授与活動
- 災害支援活動

お問い合わせ / 「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」事務局 TEL:050-3623-0751 (10:00~17:30) Mail: jimukyoku@sdgs-iwasazaidan.com

朝日新聞社は「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」のメディアパートナーです。